

テスト名	VELC Test(Visualizing English Language Competency Test)					
1. 運営事業団体	英語能力測定・評価研究会[VELC研究会]					
2. テスト作成母体	日本人大学生					
3. 主たる受験対象	日本人大学生を対象とし、幅広い受験者層に対応したコミュニケーション能力を測定するための試験					
4. 目的	Listening			Reading		
	内容語(名詞、形容詞、動詞)を聞き、文脈の助けなしで意味を理解する能力を測り、コミュニケーション能力にも繋がる、「 <u>実際的な語彙力</u> 」を測定する。	音の連結や弱化なども含む音声を聞き、単語ごとに認識できる能力を測る。自然な音声にどの程度対応できるかを調べることで、洋画を字幕無しで見たり、人と話をしたりする際に必要な能力を知ることができる。	ひとつづきの談話を聞き、意味を理解しながら話の流れを追う能力を測る。人の話を聞いたり、会話をしたりする際に、無意識に行っている「話の展開を予測する作業」を英語でも行えるかどうかを調べることができる。	内容語(名詞、形容詞、動詞)を目で見たとき、 <u>文脈の助けなしでも意味を理解する能力</u> を測る。	英文全体の文法的構造、長めの主語を見抜く力、長めの目的語を見分ける力、挿入語句を見抜く力、修飾関係や意味を見抜く力を測る。	ある程度の長さの談話を読み、意味を理解しながら論理の展開を追う能力、文と文の間の関係などを理解しながら読み進む能力を測る。
5. 構成概念の構成(測定する能力)	Listening(計25分・60問)			Reading(計45分・20問)		
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)	Part 1	Part 2	Part 3	Part 1	Part 2	Part 3
	語彙問題 日本語の語句に相当する正しい英単語を聞いて選ぶ問題。	音声解析問題 読み上げられた英文の中の、指定された位置の単語を聞き取る問題。	内容把握問題 読み上げられた英文の内容を理解し、文末に必要な正しい単語(語句)を選ぶ問題。	語彙問題 与えられた日本語の語句に相当する正しい英単語を、読んで選ぶ問題。	文法構文力問題 英文の構造を理解し、抜き出された単語の位置を正しく指摘する問題。	内容把握問題 英文を読んで内容を理解し、空所を補う正しい語句を選ぶ問題。
7. 採点基準	多肢選択式・二値的					
8. 項目数	20	20	20	20	20	20
9. 得点	ラッシュモデルによる推定のため、各パートでの得点が正解数と同値にはならない。					
10. 受験時間	70分					
11. 受験者数	テスト作成の際、約5,000名がテストに参加・協力					
12. 受験料	800円/1人					
13. ウェブサイト	http://www.velctest.org/index.html					
14. その他(変化・特徴など)	<p>受験は大学単位</p> <p>「eポートフォリオ」で大学生向け状況別CanDoレベルが例示される。そこで試験の結果が閲覧可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スコアレポート/英語力のバランス・弱点分析/経年変化 ・状況別Can DoレベルやTOEIC予測スコア ・クラス分け、レベル分けなどにも対応 ・VELC Testの状況別Can Doでは、日本で暮らす日本人大学生にとって身近な実生活に関連した“can do”の内容「できる・できない」ではなく、「どの程度できるか」を10段階で表示している。 					

感想

日本国内で使用されている英語運用能力テストのなかで、VELCは最も安価なテストだと思われる。試験時間も極端に長くないため、様々な使い方が想定される。Can-do評価が詳細に提示されるので英語運用能力を確認し、その後の学習に参考になりそうだ。(Y.Y)